

第 20 回西日本カーリング選手権大会  
第 12 回西日本ミックスダブルスカーリング選手権大会  
第 1 回西日本シニアカーリング選手権大会

## 審判長事前通知事項

平成 30 年 12 月  
大会審判長 松之内 達弘

この文章は大会競技事項についてまとめたものであり、出場するチームの選手はもとより、コーチもこの文章を読んで理解し大会当日に持参する事。  
また競技規則も持参する事。尚、チームミーティングは大会当日に行う。

### 1. 大会競技規則について

本大会は（公社）日本カーリング協会競技規則 2015 年 1 月版（青色表紙）、2016.2 および 2018.11 競技規則の一部改正、並びに本大会が定める規則によって行います。

### 2. プレー中のユニフォームについて

（公社）日本カーリング協会の「ユニフォーム規定」《2018 年 10 月改定 Ver2 JCA 競技委員会～》に基づくユニフォームを着用することとします。

### 3. ラインナップについて（受付時に各チームへ配布）

#### ① オリジナルラインナップカード

チームミーティングの終了後までに本部まで提出して下さい。

#### ② 選手交代用ラインナップカード（大会本部に準備）

オリジナルラインナップに記載されている投球順等を変更する場合は、試合毎に試合前練習開始の 20 分前までに提出して下さい。

### 4. 大会で使用されるストーン

今大会では浜田のストーン及び岡山県協会所有のストーンを使用します。

状況に応じ、使用するストーンが変更される場合があります。

### 5. 予選でのラストストーンの扱い

① 予選では、試合前練習後に LSD を行って第 1 エンドの先攻・後攻を決定します。

② LSDは審判の指示によりチームの代表2名が1投ずつ行い、先に時計回りから投球して下さい。2投の合計距離の短いチームが第1エンドの先攻・後攻を選択する権利を有します。合計距離が同じ場合は個別の数値が最も小さい方のチームとし、全てが同じ場合はコイントス等により先攻・後攻を選択するチームを決定します。

③ 最低投球数については、男女とも各選手1投としますが、チームで2投を投球する選手は、必ず違うターンで投球するようにして下さい。（4人制・シニアのみ）

補欠がLSDを投球した場合は、他の一人の選手の投球に通算されます。

④ 最低投球数やターンに違反があった場合は **199.6 cm**と記録されます。

**⑤今大会より2点計測を行います。**

## 6. 競技方法について

各選手権大会の要綱通りの競技方法とする。

以下、重要事項のみ記載し、当日に変更が生じる場合は大会本部・審判長より発表する。

① 予選順位は勝数順とし、同数の場合は直接対戦で決定します。それでも決められない場合（三つ巴等）はLSDの平均値で決定します（今大会はLSD10投以下となりますので、DSCは最も記録の悪い「1投」を省きます。）・4人制のみ

② LSDの合計値が同じ場合は、個々のLSDを小さい数値順に比較して決定し、全てが同じ場合はコイントス等で決定する。タイブレークは実施しません。

③ 試合エンドは予選8エンドとし、決勝・準決勝は10エンドとする。（4人制のみ）

MD,シニア選手権は全試合8エンドとする。

終了時同点の場合はエキストラエンドで勝敗を決します。エキストラエンドは1エンドのみとし、それでも決着が決まらない場合は代表者ドローで近い方で決着を行う。

## 7. ストーンの割り当てについて

① 予選は男女とも先練チームが赤ハンドルのストーンを使用して下さい。

練習順は試合前練習20分前までにコイントスにて決めて、赤ストーンを使用するチームが本部に報告してください。

② 選択項目の報告について

決勝ラウンドでの選択項目（試合前練習の先・後等）については両チーム間で決定し、選択権のあるチームが試合前練習開始20分前までに大会本部に報告して下さい。

**決勝戦等におけるストーンチョイスはありません**

## 8. 試合前練習について

① 全ての試合で各チーム5分間とします。

② 予選では赤ハンドルのチームが先に練習を行います。

#### 9. 計時について

① 全試合計時が入り、各チームのシンキングタイムは8エンド30分です。10エンドは38分 MDは22分

② 先攻チームの投球準備が出来次第いつ開始しても構いませんが、計時を行っている試合ではデッドタイムの1分が経過しても投球動作に入らなかった時は時計を動かします

**※10秒前になるまで投げてはいけません。**

③ 8エンド試合では4エンド終了後、10エンドゲームでは5エンド終了時に5分間のハーフタイムを設けますが、計時により終了1分前を審判が通知しますので、その後はいつ試合を再開しても構いませんが、5分間が経過しても投球動作に入らなかった時は時計が動く場合があります。予選、決勝ラウンドともにハーフタイム時間内に選手はコーチと話し合うことが出来ますが、**コーチ・リザーブがオンアイス上に入ることは禁止します**

④ エキストラエンドが必要な場合、計時している試合でのシンキングタイムは1エンド毎に4分30秒です。

#### 10. チームタイムアウト・テクニカルタイムアウトについて

**今大会より全試合タイムアウトを導入する。**

① 各チームは全ての試合で1回、エキストラエンドでは各エンド毎に1回、いずれも60秒のタイムアウトを取ることができる。移動時間については当日に発表する。

② タイムアウトを取るときは、選手は両手で「T」の文字を作って**タイマーに向かい大きく、わかるように合図して下さい。**また、選手と接触できるのはコーチ席の中の1名のみとします。なお、コーチがいないチームもタイムアウトを取ることができます。

③選手と話し合う際のコーチの位置は、ホーム側についてはリンクの外コーチ席から、タイマー側は当日発表する。

#### ●テクニカルタイムアウト

ルールについての確認、体調不良や酌量すべき事情がある場合はチームはテクニカルタイムアウトをとることができる。

選手は両手で「X」の文字を作り、タイマー・審判にわかりやすく合図する事。

その後計時を止め審判が理由を判断し、妥当なものである場合は問題解決まで計時を止めるが、そうでない場合は再開する。

#### 12. 選手の位置について

試合中の選手の位置については、競技規則R4に基づくものとします。

また、**グリッパー・ブラシなどの道具類などはストーンの後ろのロープの外に置き、シート**

## 間などに置くことは禁止する

### 13. 計測について

フリーガード適用の可否等について、両チームで判断や合意ができない場合はオンアイス審判員に計測を要求して下さい。計測の時には任意の選手1名は計測に立ち会えますが、審判員の計測を妨げない位置にいなければなりません。また、いずれのチームにも再計測を要求する権利が有ります。

### 14. 得点について

① 得点について両チームが合意したら、速やかにオンアイス審判に得点を伝えてください。得点は各チームで速やかに記入してください。

### 15. アイスへのダメージ

選手は用具、手あるいは体でアイスにダメージを与えてはなりません。

ダメージについては以下の方法で対処を行う。

- ① アイスダメージの可能性のある動作、行動が審判により確認した場合、相手チームより申告があった場合は計時を止め確認を行う。
- ② 審判はその行動・動作について偶然・されることのできたものかを決定する。
- ③ もし、その動作・行動が偶発的・避けることが可能だったものだった場合アイスメーカーの補助を得て、ダメージがあるかどうかを判断する。
- ④ ダメージがなければ何も行はない。ダメージがある場合は修復する。

手順 a. チームミーティングでの警告

b.1 回目：最初の公式なオンアイスでの警告、修復

c.2 回目：2 回目の公式なオンアイスでの警告、修復

d.3 回目：アイスの修復、選手の試合からの退場

アイスメイクは、試合中でも先に試合が終了したシートのアイスメイクを行うことがありますので、予めご了承願います。また、状況に応じ、試合時間が変更される場合があります。

### 16. コーチ席について

オリジナルラインナップカードに記載された選手とコーチが座ることができます。

今大会では、ホーム側、各得点ボードの後ろをコーチ席としますが、椅子の用意はありません。

よって、本部席の一部をコーチ席として用意する予定です。場所は当日指示しますが、他のチームの選手と話すことは禁じます。上記以外の場所にいることも禁じます。

## 17.ゴミについて

今年度より、各自で購入した弁当ガラ等の生ゴミは各自で持ち帰ること。

但し、事前申し込みのあり、協会で用意した弁当を購入したものは除く。

## 18.荷物について

ロビーはサッカー利用者との共同利用です。

今年度より、ブラシ、荷物などをロビー・椅子等に置いたままの場所取りは禁止する。

試合中などにロビー内に荷物を置いたままにする行為は禁止する。

荷物やブラシなどはすべてリンク内の所定の位置に置くこととし、荷物を置いたまま椅子・

ロビーから離れることは禁止する。

## 19.携帯電話

プレーエリアに入る前に携帯電話の着信音は切っておくこと。

試合中、コーチ、リザーブが電子機器類を使用する場合はフライトモードに変更すること。

## 20.報道

カーリングを行うには報道機関の支援が必要である。したがって全ての選手、コーチ、チーム関係者は報道関係者の常識的要求には協力することが求められる。

何か問題がある場合は、本部まで伝えること。

## 21.整理整頓

リンク内、ロビーは常に整理整頓する事。

## 22.不当な行為

出場する選手・コーチは他のカーラーの見本となるべきである。

勝敗やショットの可否により感情が表に出る事自体は自然なことではあるが、氷をブラシでたたくななどの行為は、決して認められるものではありません。

そういった行為の制限について本通知事項を1回目の注意とする。

試合中に同様の行為があった場合、また不当な行為、不快もしくは攻撃的言動があった際は審判よりタイムアウトを宣言し注意を行う。違反行為に対しては、退場処分を科せられる。

## 23.その他

① スウィーピング用具については、WCF認定ブラシパッドを使用すること。

③ 試合状況により時間が変更になる場合もあります。余裕を持って集合して下さい。

④ 競技規則、およびこの審判長事前通知に記載されていない事項が発生した場合は、その都度審判長が判断します。

- ⑤ フォグライン審判は置きませんが、状況に応じ、審判が立つことがあります。その場合、フォグラインオーバーの場合は審判より通告する。
- ⑥ 用具については承認済みの物を使用する事。
- ⑦ JCA によって規定された用具以外を使用しない事。その場合は競技規則に記載の罰則とする。
- ⑧ イブニングプラクティス（夜間練習）は設けません。
- ⑨ ストーンの研磨を大会期間中に行う場合があります。その場合は終了後に通告します。
- ⑩ その他、試合当日に状況に応じ、上記内容が変更される場合があります。その場合は審判長・大会本部より通告します。